

そうま広域圏だより

令和元年
7月発行
—第37号—

消防職員募集

相馬地方広域市町村圏組合では、令和2年4月に採用する消防職員を募集します。

- 採用予定人員 4名程度 (男・女を問いません)
- 受験資格 平成4年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた方
- 受付期間 7月1日(月)～8月16日(金)
- 第1次試験 9月22日(日)
- 試験科目 教養試験(高校卒業程度)、体力試験、適性検査
- 申込用紙 相馬地方広域市町村圏組合事務局、相馬地方広域消防本部、相馬地方の各消防署・分署、相馬看護専門学校で配布します。

■組合のホームページからもダウンロードできます。[<http://www.soma-area.jp/>]



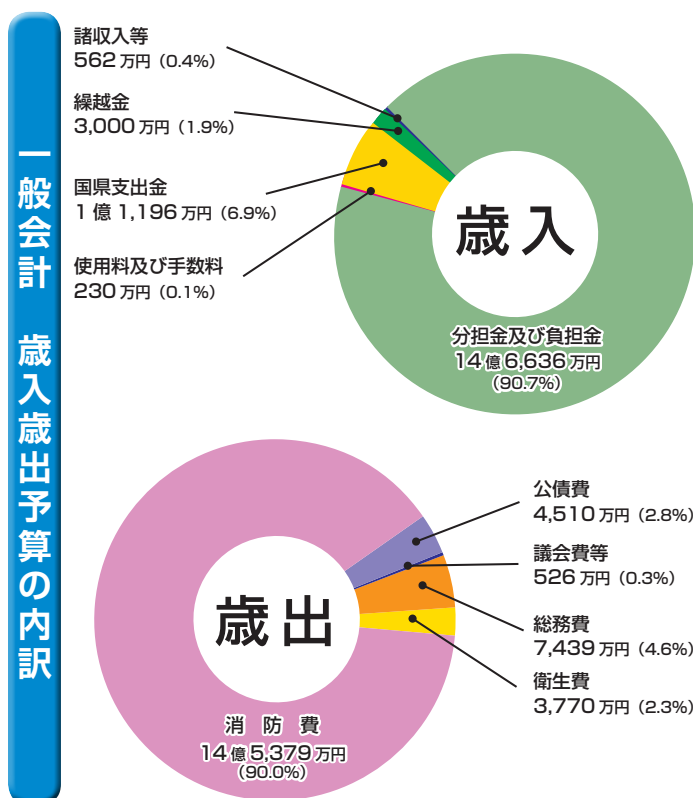
組合の財政状況をお知らせします

組合では、財政状況の作成及び公表に関する条例に基づき、年2回財政状況について公表しています。今回は、平成31年度(令和元年度)予算概要と平成30年度予算執行状況(下半期)についてお知らせします。

平成31年度(令和元年度)予算

平成31年度(令和元年度)予算の概要は次のとおりです。

会計区分	予算額	前年度比
一般会計	16億1,624万円	1億1,753万円
看護専門学校特別会計	2億5,790万円	△2,919万円
合計	18億7,414万円	8,834万円



今年度の主な事業

○消防車両整備事業

複雑多様化する特殊災害に対応可能な特殊災害対応消防支援車1台を新規購入し、更なる消防力・災害対応能力の充実強化を図ります。

○救急医療対策事業

休日における急病患者の医療を確保する在宅当番医制事業費、歯科在宅当番医制事業費及び休日・夜間に入院治療を要する救急患者の医療を確保する病院群輪番制病院運営事業費を補助します。

○相馬地方介護人材緊急対応事業

高校生を対象とした介護職員初任者研修や介護福祉士実務者研修を実施し、将来の相馬地方における介護事業を担う人材を育成します。



平成30年度下半期の予算執行状況

(平成31年3月末日現在)

会計	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
一般会計	15億3,627万円	15億2,354万円	99.2%	13億6,538万円	88.9%
看護専門学校特別会計	2億9,239万円	2億9,319万円	100.3%	2億7,458万円	93.9%
合計	18億2,866万円	18億1,673万円	99.3%	16億3,996万円	89.7%

※収入済額及び支出済額については出納整理期間となる4月1日から5月31日までの数値は含まれておりません。

■ 組合債の状況 (平成31年3月末日現在)

項目	未償還元金
消防施設整備事業債	1億2,089万円
看護専門学校整備事業債	8,178万円
合計	2億267万円

■ 組合所有財産の状況 (平成31年3月末日現在)

土地	10,713.21㎡
建物	6,171.82㎡
有価証券	786万円
自動車	49台

相馬地方広域消防本部からのお知らせ

救急車の適正利用をおねがいします



平成30年の相馬地方広域消防本部管内における救急出動件数は4,716件で、1日平均約13件出動したことになります。救急出動件数のうち4,190人を医療機関へ搬送しました。

消防では119番通報で救急車の要請があると、最も近くの救急車が出動しますが、最寄りの救急車が出動している場合、その次に近い救急車が出動することになります。そのため、救急要請が重複すればするほど、遠くの救急車が出動することになり、現場への到着時間が遅れ、救える命が救えなくなる恐れがあります。

本当に必要なとき、本当に必要な人が利用できるよう、住民みなさん一人ひとりが、救急車の適正な利用にご協力ください。

こんな時は迷わずに119番してください

- 呼んでも返事がない（意識がない）
- 急にろれつが回らなくなった
- 頭・胸・腹などが突然激しく痛む
- 大量に出血している
- 顔半分や片方の手足がしびれて動かない
- 突然呼吸ができなくなった
- 広い範囲にやけどをした
- けいれんが続いている など

消防庁長官激励視察

平成31年4月15日（月）、黒田武一郎消防庁長官が、震災後の相馬地方の復興状況を視察され、相馬地方広域消防本部の職員に対し、震災と原発事故の対応への労いと日ごろの消防活動への激励をいただきました。

黒田長官は「当地は双葉地方に隣接しており、広く相双圏域住民の安心安全も守っていただいております。これからも圏域住民のため頑張っていただきたい。福島復興なくして、日本の復興なし」と激励の訓示をされました。



相馬エネルギーパークで合同訓練を実施

平成31年3月7日、相馬市光陽2丁目地内にある「相馬石炭・バイオマス発電所」相馬エネルギーパークにおいて消防長巡視の中、合同消防訓練を実施しました。

今回の訓練は、福島県沖で震度6弱の地震が発生し、津波警報が発令されたとの想定により、相馬エネルギーパーク合同会社の自衛消防隊による消火活動やガス漏洩処置、避難誘導、さらに協定を結んでいる鹿島クレーンのクレーン車による屋上からの逃げ遅れ者の救出、消防の特殊車両による高所への消火訓練等を行いました。今後も関係機関との合同訓練を実施し緊密な連携を図りながら、相馬地方の安全安心を守ってまいります。

◎ 第20回救急シンポジウム開催のお知らせ ◎

相馬地方広域消防本部では、団塊の世代が後期高齢を迎える2025年問題の対応が急がれている社会情勢を踏まえ「救急医療と福祉の連携」をメインテーマに、第20回救急シンポジウムを開催します。地域医療と福祉に関わる方々や多くの方にご来場いただき、有意義なシンポジウムとしたいと考えております。

事前申し込み不要で、当日お気軽にご聴講いただけます。是非この貴重な機会にご来場ください。

・開催月日 令和元年9月8日(日) 14:00~16:00

・開催場所 相馬市総合福祉センター「はまなす館」

・内容

①講演 『地域包括ケアシステムと救急医療』

※講演者 恵泉クリニック(東京都) 院長 太田祥一先生

②パネルディスカッション 『相馬地方の地域包括ケアと救急医療の現状』

・問い合わせ 相馬地方広域消防本部 (Tel.0244-22-4164)

相馬看護専門学校からのお知らせ

看護学生を募集します

相馬看護専門学校では、令和2年4月入学の学生を募集します。看護への道を一緒に歩みませんか。

- 募集人員 40名
- 修業年限 3年
- 受験料 2万円
- 試験区分 推薦(公募・特別)及び一般入学試験

推薦入学試験

■受験資格

公募推薦(高校生)

- ①相馬地方の市町村に住所を有する者
- ②令和2年3月に高等学校を卒業見込みで、高等学校長が推薦する者

特別推薦

- ①相馬地方の市町村に住所を有する者
- ②高等学校を卒業した者、またはこれと同等以上の学力があると認められる者

■願書受付期間 10月1日(火)～24日(木)

■試験日 11月7日(木)

■試験方法 数学I・小論文・面接

一般入学試験

■受験資格

高等学校を卒業した者(令和2年3月卒業見込みを含む)または同等以上の学力が認められる者

■願書受付期間 11月11日(月)～12月12日(木)

■試験日 令和2年1月9日(木)

■試験方法 国語総合(古文・漢文は除く)・
数学I・英語I・面接

募集要項・受験願書の配付

7月上旬から相馬看護専門学校にて配布します。

郵送を希望する場合は、返信先(氏名・郵便番号・住所)を記載し250円切手を貼った返信用封筒(角型2号24cm×33cm)を必ず同封のうえ請求してください。

※一般入学試験(二次募集)は次号(第38号)でお知らせします。

看護学校に関する 問合せ先

相馬看護専門学校総務係

〒976-0006 相馬市石上字南蛭沢344

☎0244-37-8118

<http://academic2.plala.or.jp/kango/index.html>



オープンキャンパスを開催します

相馬看護専門学校では、看護師を目指す方やそのご家族の方にもっと本校を知ってもらうため、オープンキャンパスを開催します。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

■日時 8月4日(日)・5日(月)の2日間
両日とも午後1時30分～3時30分

■場所 相馬看護専門学校

■開催内容 学校紹介、看護体験、模擬授業、在校生との交流(質疑・応答)など

■申込方法 高校生は進路指導担当の先生へ、中学生・一般(社会人)の方は相馬看護専門学校総務係へお問い合わせください。



第7回相看祭を開催します

相馬看護専門学校では、第7回相看祭を開催します。「虹～これから咲かせる笑顔の架け橋～」をテーマに、看護体験、スタンプラリー、ナース服体験、バザーなど子どもから大人まで楽しめるイベントを企画しております。多くの皆様のご来校をお待ちしております。

■日時 10月6日(日)午前10時～午後3時

■場所 相馬看護専門学校

